



# 令和4年度 進路だより



第5号  
令和4年6月28日（火）  
南風原町立南風原中学校  
発行者 進路担当

## 進路希望調査を行います

「進路」とは「なりたい自分」になるために必要なことは何か、その為に今、どのような事を努力するかなど、自己成長について考えることです。ただ、長期的な見通しを持って、今を計画するのは簡単ではないため、本校では今年度から「未来ノート」を導入し進路を考える後押ししていきます。今号では中学校卒業後の進路について未来ノートの資料を使いながら考えてみましょう。

## 未来ノートp9の図から考えよう

高等学校、高等専門学校、専修学校

	高等学校	高等専門学校	専修学校
目的	高度な普通教育及び専門教育学科によって学ぶ内容が異なる	産業界をリードする人材教育のため、実験・実習を中心とした専門教育を行う	職業・生活能力の育成 教養の向上
修業年限	原則3年（一部4年）	5年（一部5.5年）	1～3年
入学試験	公立5科目 私立3科目	5科目	書類選考/面接/作文
学習内容	普通科目 専門科目	工業や商船などの 専門的内容	職業に関する内容重視 （実習重視）
大学進学	進学可能	卒業後編入学可能	修業年限3年等一定の条件 の学科終了で入学可能
進路	進学（71.0%） 就職（18.5%） その他（10.5%）	進学（40.7%） 就職（57.3%） その他（2.0%）	進学（43.8%） 就職（56.2%）

公立とは県立学校のことで県内に60校（南風原高校や南部農林高校など）ある。

私立は興南や沖縄尚学のこと。最近通信制の私立、飛鳥未来きずなやKBC未来など増えてきている。

公立高校では、普通科と専門科に学習内容が大きく分かれており、普通科とは中学校の学習内容をより深めた学習を行う学校のこと。

専門科は「商業」「工業」「水産」「農林」に分かれ、5教科の学習もあるが、専門の学習も行う学校のこと。

南風原高校や南部農林高校など、皆が高校といえどイメージする学校。

名護にある沖縄工業専門学校のこと。

専門学校と一般的に言われている学校。高校卒業後は選択できる高校も多いが中卒では大育などわずか。

\*未来ノートの次のページには高校の一覧があるので観ながら考えるとわかりやすいよ♪

## 全日制・定時制・通信制

授業を行う時間帯が大きく変わる。

- 全日制：中学校とほぼ同様の時間帯
- 定時制：勤労学生のために設置されているので、那覇工業高校の定時制では16時55分から1校時が始まる。
- 通信制：ここ数年増えてきており、通学日数や授業時間など学校によって特色がある。

### 『コース』とは

普通科がさらにコースに分かれている高校があります。そこでは5教科の授業を減らしてコースの授業を行います。

例えば南風原高校普通科の郷土文化コースでは、普通総合コースより数学や理科が少なくなり、郷土芸能に関する授業が増えます。

## 通学区域とは

小学校から中学校に進学するときの校区のようなものです。住んでいる地域によって南風原中、南星中と決められたように、市町村ごとに決まっています。ただし、この通学区域は公立の「普通科」のみに適応され「普通科」以外は全県区域になります。

通学区域外の高校には進学できないのかということ、定員の10%以内の範囲で通学区域外から入学することができます。これは、推薦入試と一般入試に適応され、2次募集では通学区域はありません。

\*未来ノートのp12も参考にしてくださいね。

本校の通学区域の高校（普通科のみ適応）  
豊見城、南風原、知念、豊見城南、糸満  
向陽、首里、首里東、真和志